

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	1 二宮駅周辺地区の自転車利用環境の向上												
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）					交付対象	二宮町						
計画の目標	自転車収容に苦慮していることから、将来収容台数を増やすことにより、放置自転車を減らし自転車利用環境及び駅南口利用者の利便性の向上を図る。												
計画の成果目標（定量的指標）	交通バリアフリー基本構想に基づき、駐輪場の収容台数の増加により自転車交通の利用増進を図る。												
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値	備考	
	利便性向上による放置自転車数の減										当初現況値 (H22当初) 355台/年度	最終目標値 (H26末) 340台/年度	
全体事業費	合計 (A+B+C)	7百万円	A	6百万円	B	-	C	1百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		14.3%		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
二宮町防災安全課にて評価を実施	平成29年度（事業終了後） 公表の方法 二宮町ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	交通	一般	二宮町	直接	二宮町	二宮駅周辺地区都市交通システム整備事業	自転車駐輪場改修 A=295㎡	二宮町						6	
合計												6			
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-1	交通	一般	二宮町	直接	二宮町	防犯灯設置事業	N=3基(LED灯)	二宮町						1	
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・駅南口自転車駐車場1階における自転車ラックの改良により駐輪可能台数が400台から422台となり、利便性の向上とともに放置自転車の抑制が図れた。				
II 定量的指標の達成状況	利便性向上による 放置自転車数の減	最終目標値	340台	目標値と実績値 に差が出た要因	駅隣接の自転車駐車可能台数の増加に合わせ、駅周辺の臨時自転車駐車場の整備や施設の管理体制強化を行うことで、自転車駐車場の適正利用がより一層図られ、駅周辺への放置車両が減少することで、放置自転車の回収台数が想定よりも大きく減少する要因となったと考えられる。なお、効果促進事業としての防犯灯の設置が施設誘導等の利用環境の促進以外にも放置自転車抑制に効果があったと考えられる。
		最終実績値	118台		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					

3. 特記事項（今後の方針等）

・放置自転車の数が大きく減少したとはいえ年間で118台の放置自転車回収が発生しているため、マナー向上を図るとともにニーズに合わせた整備と維持管理を推進することでさらなる減少を目指す。

社会資本総合整備計画 事後評価 (図面)

計画の名称	1 二宮駅周辺地区の自転車利用環境の向上	交付対象	二宮町
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		

